

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
<p style="text-align: center;"><b>1</b></p> <p style="text-align: center;"><b>20 番 杉 田 勝 典</b></p>	<p><b>1. 中山間地域の活性化に向けた地域資源の活用促進について</b></p> <p>(1) 中山間地域の代表的な資源である森林や温泉、農産品などを活かしたグリーン・ツーリズムや農業体験などを通じ、首都圏や関西圏をはじめとする都市との交流を一層活発化する考えはないか。また、その際に、グリーン・ツーリズムや農業体験以外の新たな交流メニューも模索できないか。</p> <p>(2) 地産地消、再生可能なエネルギーとして木炭火力（森林発電）の実証実験を行い、森林整備や林業振興に繋がられないか。</p> <p><b>2. 病児・病後児保育に関する施策について</b></p> <p>(1) 保育園等で児童が体調を崩し、保護者が直ちに対応できない場合、病児保育・病後児保育施設から看護師等が児童を迎えに行き、保護者に代わって受診させた後、当該施設で預かる病児保育の送迎対応を検討できないか。</p> <p><b>3. 上越地域医療センター病院に併設した民間の健診機関の誘致について</b></p> <p>(1) 上越市の豊かな自然や温泉等を活用したメディカル・ツーリズムに取り組む観点から、民間の健診機関を誘致する考えはないか。また、誘致にあたっては、上越地域医療センター病院の付加価値を高めるため、病院に併設してはどうか。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
<p style="text-align: center;"><b>2</b></p> <p style="text-align: center;"><b>21 番 栗 田 英 明</b></p>	<p><b>1. 地域協議会の強化について</b></p> <p>(1) 地域協議会委員の新たな任期が始まったが、地域協議会委員にその役割を理解していただく機会があったのか。</p> <p>(2) 従来の地域協議会の主な活動は「市長の諮問に対する審議」「自主審議による意見書の提出」など市長に対して意見を述べるが多かった。今後は、地域協議会が住民との対話を重ね、自主自立のまちづくりに積極的に関与することが重要と考える。そのために市として地域協議会を計画的に育成、強化していく責任があると思うが、今後の方針を明らかにしてほしい。</p>	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>3</b></p> <p style="text-align: center;"><b>31 番 永 島 義 雄</b></p>	<p><b>1. 新幹線開業後における交流人口の拡大と経済効果について</b></p> <p>(1) 新幹線開業により交流人口が拡大し、当市を訪れる人は大幅に増加したと思うが、市内の各業界における経済効果について現状を聞きたい。</p> <p>(2) 当市は、新幹線開業に長年関わる中で、税金などを財源として、区画整理や建設費などの投資や負担を行ってきたが、概算でどれぐらいの額になっているのか聞きたい。</p> <p>(3) 自治体としての経営的観点に立ち、投資により市内各企業の業績が伸び、結果として市の税収増を見込んでいると思うが、見込みどおりに推移しているか。</p> <p>(4) 交流人口の拡大こそが地元経済の起爆剤になり得る。交流人口を増やすため、各種競技団体が県内外から選手、役員、応援する家族など多くの人を招く努力をしている今、なぜ、多くの施設利用者にとって負担増となる使用料の見直しを実施したのか。これは、交流人口を拡大する政策に逆行しているのではないか。</p> <p>(5) 宿泊が多くなれば経済効果にも表れると思うが、こうした大会やイベントに、思い切ってもっと多くの補助金を支出すれば、市税の増収が図られ、市の財政も潤うのではないのか。そうしたことを考えるのは、自治体経営として重要なことだと思うがどうか。</p> <p>(6) 各種競技大会やイベントの開催時、市内において、歓迎、おまねき、おもてなしの気持ちを表すアーチ、フラッグ、ポスターなどは、あまり目にしない。大会の成功と交流人口の拡大に向け、こうした演出にもっと取り組むなど、協力していく姿勢はないのか。</p> <p>(7) 市と上越観光コンベンション協会との連携があまり見えない。月に何回かのペースで、様々な競技大会やイベントを開催し、交流人口の拡大に向けて、一層取り組む考えはないか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>4</b></p> <p style="text-align: center;"><b>10 番 石 田 裕 一</b></p>	<p><b>1. 買い物弱者に対する支援について</b></p> <p>(1) 中山間地域を中心に、商店等の廃業が進み、買い物の場が無くなってきている。店主の高齢化や後継者の不在、経営難などが廃業の理由であるが、市内における商店等の廃業の現状をどう捉えているか。また、近隣に買い物の場が無く困っている買い物弱者の声をどう把握しているか聞きたい。</p> <p>(2) 現状を踏まえ、買い物弱者に対する支援が必要だと考えるが、現在、どのような支援を行っているか。また、支援計画を策定し、計画的に支援していく考えがあるか聞きたい。</p> <p><b>2. シニア世代の社会活動に対する支援について</b></p> <p>(1) 他市では、シニア世代が地域活動の基本を学ぶ「公開講座」の実施や、人材と仕事のマッチングを行う「シニアバンク制度」の構築など、シニア世代の社会活動への参加を促すための支援が行われている。団塊の世代を含む 60 歳代、70 歳代が活躍することは、これからの人口減少社会において重要な役割を果たし、また、生きがいを持って元気に活動することで将来の要介護者を減らす狙いもある。社会活動の場を十分に確保することが大切だと思うが、シニア世代による社会活動への支援について、市長はどのように考えているか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
5	<p>1. 地域自治区制度について</p>
7 番 橋 本 洋 一	<p>(1) 市の刊行物等において、「合併前上越市」という用語が使用されているが、その意味、導入の背景、経緯について伺う。また、28 区ある地域自治区との関係はどうか。</p> <p>(2) 「合併前上越市」と 13 区を区分する理由はなにか。今後もこの用語を使い続けるのか伺う。</p> <p>(3) 教育の現場でも、このような使い分けをしているのか伺う。</p> <p>2. 防災の考え方について</p> <p>(1) 最近の災害は、過去の経験や現在の予測を超えたレベルで発生しているものが多い。「過去に経験のないほどの大雨が予想される」などの気象情報が発せられた場合、避難判断基準にとらわれない臨機な決断が必要と考えるが、市民の生命、身体、財産を守る最高責任者としての市長の考えを伺う。</p> <p>3. 交通環境の整備について</p> <p>(1) 安全な交通環境の整備が急務と考えるが、白線の消えた道路、横断歩道の区別がつかない交差点など現状は惨たんたる状況である。市が率先して国、県、警察など道路管理者や関係機関に働きかけて交通環境を整備する考えはないか伺う。</p> <p>4. 子どもたちの安全確保について</p> <p>(1) 防犯ボランティア、交通安全協会の会員、交通安全指導員など多くの人たちが献身的に子どもたちの見守り活動をしている。市として実態をどのように把握しているか。さらに、こうした活動が青少年の健全育成と地域の支え合い、地域力の向上に大きく寄与していると考えますが、市として、これらの活動を積極的に支援し、協働していく考えはないか伺う。</p>
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
6	<p>1. 災害時の福祉避難所について</p>
2 番 牧 田 正 樹	<p>(1) 市では、高齢者や障がい者など災害時において特に支援が必要な人の避難についてどう考えているか。</p> <p>(2) 福祉避難所を指定し、その指定した避難所を市民に周知する必要があると考えるがどうか。</p> <p>2. 上越妙高駅周辺のまちづくりについて</p> <p>(1) 上越妙高駅周辺の将来像をどのようにイメージしているか。</p> <p>(2) 上越妙高駅周辺に、核となる施設を市が整備すれば、それをきっかけにまちづくりが進むのではないかと考えるがいかがか。</p> <p>3. 公契約条例の制定について</p> <p>(1) 公契約条例を制定する自治体が増えている。受注者の適正な労働環境の整備に不可欠であり、当市でも制定すべきと考えるがどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
7	<p>1. 中核市への移行について</p>
4 番 宮 川 大 樹	<p>(1) 昨年 4 月に改正地方自治法が施行され、特例市制度が廃止されるとともに、中核市の要件が人口 20 万人以上に緩和された。また、施行時に特例市であった市（施行時特例市）は、平成 32 年 3 月 31 日まで人口 20 万人未満であっても中核市の指定を受けることができることとされた。中核市に移行すると県から 1,000 を超える事務の移譲を受け、市民生活に身近な行政サービスのほとんどを市が処理することになる。これにより事務の効率化や市独自の特色ある行政サービスの実施、保健衛生行政の充実・強化など、多くのメリットがあると思うが、中核市への移行について、下記の点について聞きたい。</p> <p>ア 移行の検討に当たり、課題となっている点は何か。</p> <p>イ 移行には相当な準備期間が必要と考えるが、平成 32 年 3 月 31 日までとされる移行期限に鑑み、いつ頃までに結論を出す予定か。</p> <p>ウ 中核市に移行する意思はあるか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
8	<p>1. 高田駅周辺整備等について</p>
30 番 近 藤 彰 治	<p>(1) 高田駅前雁木の未整備箇所について、実施設計の発注見通しと今後の方向性を聞きたい。</p> <p>(2) 高田駅西口設置について、これまでの経過と今後の方向性を聞きたい。</p> <p>(3) 高田駅前観光案内所が 1 年間試行的に通年開設されるが、継続するためにはどのような条件が求められるのか聞きたい。</p> <p>2. 観光施策について</p> <p>(1) 高田城 100 万人観桜会において、昨年は開催期間中全日、上越妙高駅から会場までのシャトルバスが運行されていたが、今年は 2 日間しか運行されなかったと聞いている。政策的判断なのか聞きたい。</p> <p>(2) 北陸新幹線の開業により新幹線で当市を訪れる人は増えているが、車での来訪者が減ったため、全体的には減少している。当市の魅力発信が強く求められるが、市の考えを聞きたい。</p> <p>3. 庁内喫煙について</p> <p>(1) 木田庁舎内の喫煙室が 1 ヶ所に集約されたが、職員と市民来訪者の利用率を聞きたい。また、職員は決められた時間だけ利用するとされているが守られているか。</p> <p>(2) 喫煙室のリニューアルに際しては強力換気扇やカーテンレールなどが設置され、受動喫煙の防止に配慮されたが健康被害は出ていないか聞きたい。</p> <p>(3) 将来的には、受動喫煙防止の観点から、木田庁舎、総合事務所も含めて全面禁煙にすべきと思うが市長の考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
<p style="text-align: center;"><b>9</b></p> <p style="text-align: center;"><b>9 番 田 中 聡</b></p>	<p><b>1. 子どもの季節性インフルエンザ予防接種の助成について</b></p> <p>(1) 子どもの季節性インフルエンザ予防接種に対して、助成措置を行う自治体が増えてきているが、当市においても実施する考えがないか聞きたい。</p> <p><b>2. 公職選挙法の一部改正に対する当市の対応について</b></p> <p>(1) 本年 4 月に公職選挙法が一部改正され、共通投票所制度が創設されたが、当市の検討状況について聞きたい。</p> <p>(2) 期日前投票の投票時間の弾力的な設定が可能になったが、当市の検討状況について聞きたい。</p>
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
<p style="text-align: center;"><b>10</b></p> <p style="text-align: center;"><b>16 番 橋 本 正 幸</b></p>	<p><b>1. 三和区宮崎新田地内に長年放置されている産業廃棄物について</b></p> <p>(1) 市長は、同地の現状について、どのように認識しているか。</p> <p>(2) 昨年 12 月に行われた住民団体との話し合いの場で、同地に放置された産業廃棄物は違法状態にあることを県が認めたが、市長はこのことをどのように受けとめているか。</p> <p>(3) 昨年 3 月の議会において、市長は同地の産業廃棄物の撤去を表明したが、その後の具体的な進捗状況を明らかにされたい。</p> <p><b>2. TPPについて</b></p> <p>(1) TPP交渉は国民に交渉内容が知らされないまま、政府の恣意的な交渉が行われた。しかし、明らかになっている事実だけを見ても、当市の基幹産業である農業に壊滅的な影響を与えることが必至である。その他の影響も含めて、市はどのように事実を把握し、認識しているか。</p> <p>(2) 市長は、農業と市民生活を守る立場で、TPPを批准しないよう政府に求めるべきではないか。</p>

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
11	<p>1. 災害時避難対応について</p> <p>(1) 熊本地震は、内陸直下型の地震がいつ起きるかわからないことを改めて示した。常に災害への備えを怠らないことが重要だ。市民への周知を含め、防災・減災に対する総括的な考えを改めて聞きたい。</p> <p>(2) 熊本地震の際、指定避難所の建物の非構造部材の損傷や避難所周辺の土地の崩落などにより避難所として使用できない事例が多く発生した。当市の指定避難所について、非構造部材の耐震化・安全対策や周囲の環境等を加味し、見直す必要があるのではないか。</p> <p>(3) 国では、過去の地震の強さなどをもとに地震地域係数を定めているが、当市における地域係数を聞きたい。また、地域係数が割り引かれることに問題があるのではないか。</p> <p>(4) 仮設住宅の建設用地や供給可能な戸数のリスト化など事前対策はどうなっているか。</p> <p>(5) 災害発生時における自主防災組織の役割は極めて重要である。要となるリーダーの育成、構成員の日頃からの意思疎通、本番を想定した日常的な訓練等が重要だ。財政支援も含め、自主防災組織に対する具体的な支援方針を聞きたい。</p> <p>(6) 福祉避難所について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 熊本地震発生後、福祉避難所についてどう整理したか。</p> <p>イ 福祉避難所の運営について、災害発生前から必要な対策を検討し、市独自のガイドラインやマニュアルの作成などが必要だと思うがどうか。</p> <p>ウ 社会福祉施設や小中学校、公民館、宿泊施設などを福祉避難所として事前に指定し、又は事前協定を結び、運営に係る諸課題の整理、訓練等が必要だと考えるがどうか。</p>	28 番 上 野 公 悦
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
12	<p>1. 介護保険事業について</p> <p>(1) 実施から 1 年を経過した新総合事業について、以下の点を明らかにされたい。</p> <p>ア 現状はどうか。また、1 年間の検証を行った上で改善していきたいとのことであったが、その検証と改善への取り組みの状況はどうか。</p> <p>イ 市民から介護に関して相談があった場合の窓口での対応は、具体的にどのように行っているか。</p> <p>ウ 基本チェックリストについて、その役割をどのように認識し、どのように使用しているか。</p> <p>エ 住民主体のサービスなど多様なサービスについて、現行の介護予防訪問介護、介護予防通所介護との関係をどのように捉えているか。</p> <p>オ 住民主体による支援を、今後どのように進めていく考えか。</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムについて、以下の点を明らかにされたい。</p> <p>ア 現在の構築の状況はどうなっているか。また、今後の見通しはどうか。</p> <p>イ 地域包括支援センターを再配置し、13 区ではブロック制にするなどの動きがあるが、地域での生活を保障する立場と逆行するのではないか。</p>	15 番 平 良 木 哲 也

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>13</b></p> <p style="text-align: center;"><b>29 番 橋 爪 法 一</b></p>	<p><b>1. 開業 1 年を迎えた北陸新幹線・トキメキ鉄道の課題と対策について</b></p> <p>(1) 開業後 1 年 3 カ月経過したものの、地域経済の活性化につながっていないのではないかなどといった指摘がある。市長は、現状をどのようにとらえ、また、今後どのように対応していく考えか聞きたい。</p> <p>(2) えちごトキメキ鉄道の妙高はねうまライン、日本海ひすいラインは、地域住民の日々の移動手段として大きな役割を果たしている。新幹線との接続やダイヤの見直しなどが行われたものの、まだまだ課題があると考えますが、現状をどのように分析しているか。また、それらについて、どのように対策をとっていくつもりなのか聞きたい。</p> <p><b>2. 消費税増税問題について</b></p> <p>(1) 安倍首相が消費税 10%への増税の先送りを表明した。先送りせざるを得なくなった理由をどう捉えているか。</p> <p>(2) 消費税を 5%から 8%に引き上げてから数年が経過したが、この間の増税の影響をどう捉えているか。</p> <p>(3) 消費税 10%への増税は、先送りではなく、むしろ中止すべきだと思うが、市長はどのように考えているか。</p> <p><b>3. 原子力災害事故発生時における避難計画について</b></p> <p>(1) 先日の熊本地震や今冬に発生した猛吹雪時などの状況を踏まえると、原子力災害事故が発生した際における避難計画は、現実的には機能しない点が多くあることが浮き彫りになってきている、計画の見直しは必須であると考えますが、今後どのように見直しを行っていく考えか聞きたい。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;"><b>14</b></p> <p style="text-align: center;"><b>13 番 滝 沢 一 成</b></p>	<p><b>1. 行政におけるマーケティング手法について</b></p> <p>(1) 行政において、マーケティング手法が重要であるといわれて久しいが、当市ではどのようにマーケティング手法が生かされているか。</p> <p>(2) ビッグデータ・オープンデータの活用についてはどのような状況か。</p> <p>(3) マーケティングの基本のひとつは、正確な現状分析である。その視点から当市や市関連団体の様々な事業を見ると、数値分析等において若干の疑問を禁じ得ないものがある。例えば、以下の事業においてより正確な現状分析をすべきと考えるがどうか。</p> <p>ア 高田公園のソメイヨシノの本数</p> <p>イ 百万人観桜会、上越まつり、その他市主催・共催のイベント等の入込数</p> <p>ウ GACKT 謙信の経済効果</p> <p>エ ミュゼ雪小町の開閉館時間の設定・上越妙高駅観光案内所の開閉所時間の設定</p> <p><b>2. 郷土の偉人倉石侗窩顕彰について</b></p> <p>(1) 幕末に活躍した倉石侗窩の私塾、文武済美堂からは、前島密や室孝次郎をはじめ多くの人材が輩出された。その後の自由民権運動にも影響を与えるなど、倉石侗窩は上越近代化の礎を築いた一人と言ってよい。更なる顕彰があつてしかるべきと考えるがどうか。</p>